

平成19年7～9月期の鉱工業指数

生産指数、出荷指数とも2期連続上昇

1 概要

平成19年7～9月期の埼玉県鉱工業指数（X-12-ARIMAによる季節調整済、平成12年平均＝100）は、前期と比べ生産・出荷は2期連続で上昇、前年同期比でも生産及び出荷指数はともに2期連続で上昇している。

	埼玉県			全国		
	指数	前期比 (%)	前年同期 比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期 比 (%)
生産	97.1	2.9	3.1	110.1	2.2	2.7
出荷	100.2	4.4	4.6	114.1	2.1	3.3
在庫	104.9	2.8	6.7	97.1	1.3	2.6
在庫率	139.5	4.6	19.3	100.4	0.6	1.5

注) 前年同期比は原指数、在庫指数は期末値

2 鉱工業指数の推移(季節調整済指数)

	生産		出荷		在庫	
	指数	前期比(%)	指数	前期比(%)	指数	前期比(%)
17年期	89.8	1.7	90.6	2.2	114.8	7.4
期	91.9	2.3	94.1	3.9	117.6	2.4
18年期	93.3	1.5	96.2	2.2	113.2	3.7
期	93.9	0.6	96.3	0.1	109.0	3.7
期	94.0	0.1	95.3	1.0	112.7	3.4
期	95.7	1.8	99.1	4.0	112.0	0.6
19年期	90.2	5.7	93.5	5.7	105.7	5.6
期	94.4	4.7	96.0	2.7	107.9	2.1
期	97.1	2.9	100.2	4.4	104.9	2.8

3 上昇・低下に寄与した主な業種及び品目

(1) 生産(9業種上昇 10業種低下)

上昇した主な業種	化学工業	7.3% (1.8%)	医薬品
	一般機械工業	6.7% (0.8%)	半導体製造装置
低下した主な業種	鉄鋼業	9.8% (0.3%)	粗鋼、鋼半製品
	プラスチック	1.4% (0.1%)	日用品雑貨プラスチック製品
上昇した主な品目	医薬品(化)、半導体製造装置(一)、炭酸飲料(食) 端末装置・基地局通信装置・デジタル伝送装置・液晶テレビ(電)		
低下した主な品目	携帯電話(電)、化粧品(化)、空気圧機器(一)、食缶(金) 粗鋼・鋼半製品(鉄)、けん引車(輸)		

(2) 出荷(11業種上昇 8業種低下)

上昇した主な業種	輸送機械工業	6.3% (1.7%)	乗用車、輸送機械用エアコン
	化学工業	7.2% (1.1%)	医薬品
低下した主な業種	金属製品工業	4.1% (0.1%)	食缶
	繊維工業	6.4% (0.1%)	不織布、ふとん
上昇した主な品目	乗用車・輸送機械用エアコン・機関部品(輸)、医薬品(化) 半導体製造装置(一)、端末装置・基地局通信装置(電)		
低下した主な品目	携帯電話・交換機(電)、普通トラック・けん引車(輸)、化粧品(化) 空気圧機器・はん用内燃機関(一)、鉄系鍛工品(鉄)		

(3) 在庫(8業種上昇 11業種低下)

上昇した主な業種	一般機械工業	11.7% (2.8%)	はん用内燃機関・空気圧機器
	非鉄金属工業	11.7% (0.4%)	アルミニウム圧延製品
低下した主な業種	輸送機械工業	38.6% (5.7%)	乗用車
	電気機械工業	6.1% (1.6%)	線形半導体集積回路
上昇した主な品目	はん用内燃機関・空気圧機器(一)、大型バス・普通トラック(輸) モス型半導体集積回路(電)、プラスチック製容器(プ)		
低下した主な品目	乗用車(輸)、農業用乾燥機・圧縮機(一)、鋼半製品(鉄) 線形半導体集積回路・鉛蓄電池・電気掃除機・HIDランプ(電)		

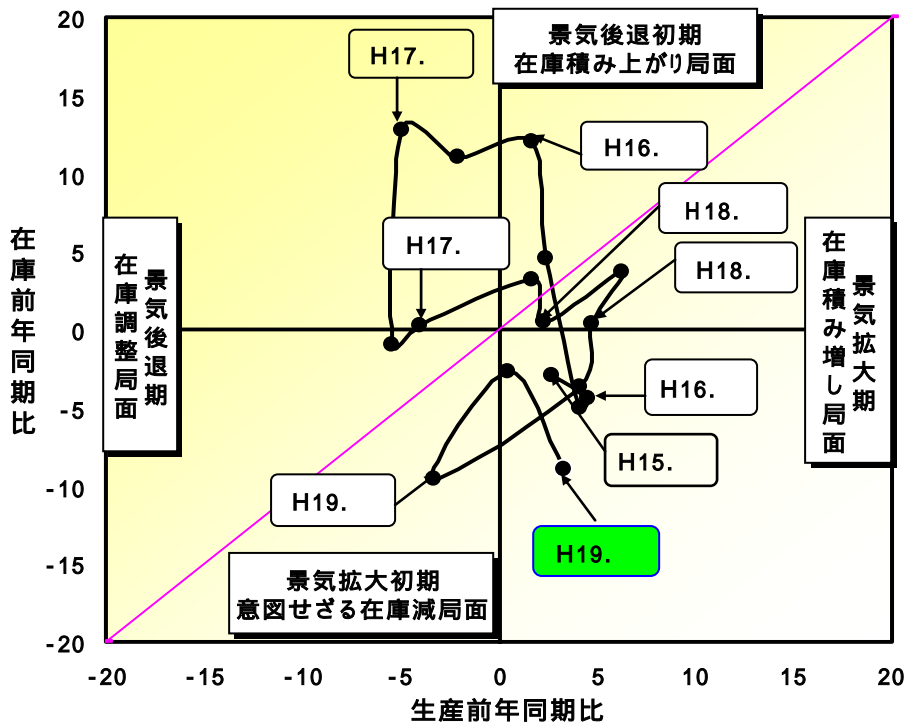
注1) 上昇・低下した業種には、産業総合、鉱工業総合、製造工業総合、その他工業総合公益事業を数えていない。

2) 数値は対前月、()内は寄与度。

3) 上昇及び低下した主な品目別の()内略称については、別添の業種分類別表を参照

4 埼玉県在庫循環

埼玉県在庫循環図



埼玉県在庫循環概要図

